

# 2 0 2 3 年 度 事 業 計 画

## 2023年度 事業計画基本方針

2022年度は、新型コロナウイルスの感染症対策と社会経済活動の両立が進み、個人消費が持ち直しを見せるなど、回復へと向かった。先行きについても2023年の実質GDP成長率は、緩やかな回復が続く見通しである。

一方で、世界経済の減速により輸出の下振れや、物価上昇局面という近年にない状況を迎え、消費者マインドや企業業績に与える影響、不安定な国際情勢など、リスク要因に対する引き続きの注視が必要であるとされている。

印刷産業においてもエネルギー費や原材料価格の高騰により、紙の印刷需要の減少など厳しい経営環境が続いた。常に変化し続ける社会の中で、印刷産業の持続的な成長の実現のため、新たな価値の創出を加速することが重要である。

こうした状況の中、日印産連は長期的な視点に立って「持続可能な環境・社会・経済」を実現していくために、会員10団体とともに2030年を見据えた印刷産業のあるべき姿を描く、新たな「グランドデザイン」を策定する。また組織的には、新たにステアリング・コミッティの下に、「取引改善推進プロジェクト」を、事業活動として「渉外活動」を新たに設置する。

重点テーマとして、

### ① SDGsの推進

10団体の会員企業に対し、SDGsの一層の理解・浸透を図るとともに、好事例の共有や情報発信を強化していく。

### ② 取引改善の推進

2022年度に経済産業省が主導する「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」の改訂に沿って、親事業者と下請事業者に限らず印刷産業全体で法令を遵守し、公正な取引関係の実現を目指す活動に注力していく。

### ③ 渉外活動の強化

印刷産業における課題に対し、関連する行政や業界団体との連携を強化し、有効な情報発信など課題解決に向けた取り組みを強化する。

### ④ 地球環境保全の推進

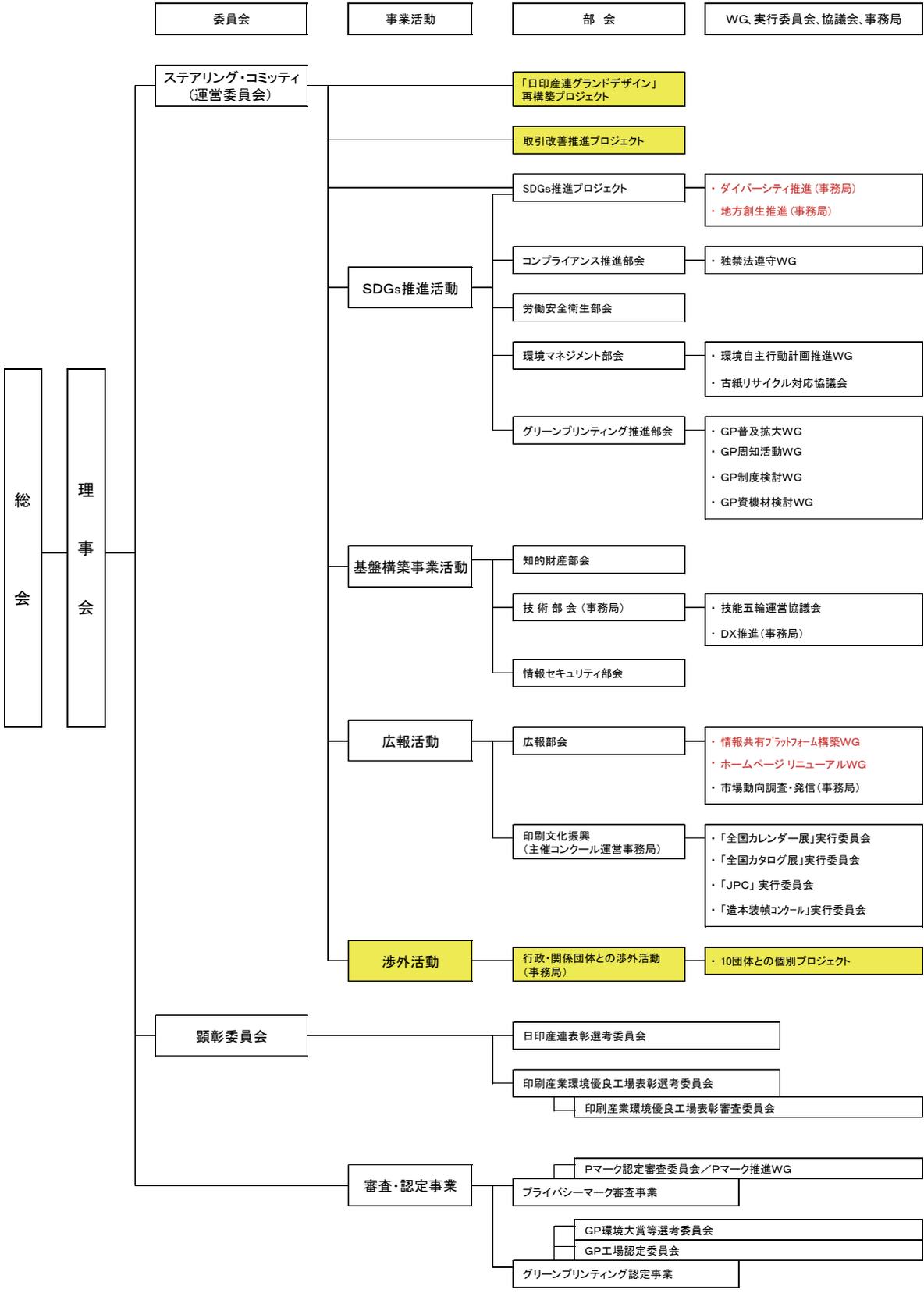
2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネ施策のさらなる推進、再生可能なエネルギーの導入促進など、業界全体の生産性向上やエネルギー使用量の極小化に取り組んでいく。

### ⑤ 情報プラットフォームの構築

会員10団体および会員企業との情報共有・情報発信、会員情報のデータベースなど10団体連携のDXの推進、および日印産連HPのリニューアルに着手する。

本年は4年に一度の「印刷文化典」の年にあたり、「9月印刷の月」式典を中心に印刷産業を広く知っていただく活動を展開していく。

2023年度  
一般社団法人 日本印刷産業連合会 委員会等運営体制図



**I**

**常設委員会・事業活動 / 顕彰委員会**

**1 ステアリング・コミッティ（運営委員会）**

1. 委員会の業務分掌

《本会の基本政策立案、及び行政並びに各事業活動の連携と調整を図る委員会》

2. 委員会事業の概要

- (1) 日印産連の基本政策の立案と検討、決定を行う。
- (2) 各事業活動の方針を策定し、部会活動内容の確認、検討、決定を行う。
- (3) 経済産業省など行政関係各省庁との連携を図り、印刷業界の課題を検討する。
- (4) 会員 10 団体の会長及び専務理事を中心に構成、テーマに応じて各部会や WG の部会長も会議に出席し、各部会活動の課題を共有し討議、解決し決定事項に実行性を持たせる。
- (5) ステアリング・コミッティで新たな検討課題や取り組みを議決する際には、早期解決を図るため、必要に応じて「臨時専務理事会議」を開催することがある。また、テーマによっては新たなプロジェクトや WG を立ち上げ、調査し課題を検討する。

3. 所属部会／WG

プロジェクトや部会・WG への委員派遣方法は、次の 2 通りとする。

**【10 団体必須】**は、日印産連全体の活動を推進したり行政各庁などの情報を全 10 団体で共有するために、全 10 団体からの委員派遣を必須とする部会。

**【団体指定・選択制】**は、活動テーマに合わせて日印産連が委員を派遣する団体を指定し、それ以外の団体は派遣するか否かを各団体で選択できる部会。

<p>①「日印産連グランドデザイン」再構築プロジェクト</p>	<p><input type="checkbox"/> 2030 年を見据えた日印産連の在り方を見直し、「グランドデザイン」を年度内に再構築する。 <b>【10 団体必須】</b></p>
<p>②取引改善推進プロジェクト</p>	<p><input type="checkbox"/> 下請取引適正化の遵守に関する活動を行う。 * 「下請取引適正化の自主行動計画」を印刷業界全体で遵守していくため、親事業者と下請事業者に限らず印刷産業全体で法令を遵守し、公正な取引関係の実現を目指す活動に注力する。 * フォローアップ調査を行い、遵守状況を把握する。 <b>【10 団体必須】</b></p>
<p>③SDGs 推進プロジェクト</p>	<p><input type="checkbox"/> 10 団体会員企業各社の SDGs に対する理解・浸透、SDGs に基づく事業推進を促進する。 * 10 団体へのヒアリングによる会員企業各社への SDGs に対する理解・取り組み促進の状況及びそれに向けての課題の把握 * 各団体の取り組みの好事例の共有と日印産連として支援すべき施策の検討 * 日印産連 Web サイト上に掲載している SDGs 取り組み事例集の拡充 <b>【10 団体必須】</b></p>

**2 SDGs 推進活動**

1. 活動の概要

ESG（環境・社会・企業統治）に関わる下記の事業に取り組み、SDGs を促進する。

## 2. 所属部会／WG

<p>* ダイバーシティ推進 (SDGs 推進プロジェクト内事務局)</p>	<p><input type="checkbox"/> 会議体としてではなく、所属 10 団体への官公庁等からの情報発信を主な役割とし、事務局にて推進する。</p> <p>* 日印産連としては開催せず、印刷工業会、全日本印刷工業組合連合会等が開催するセミナー等に協賛する形とする。</p>
<p>* 地方創生推進 (SDGs 推進プロジェクト内事務局)</p>	<p><input type="checkbox"/> 地方創生・地域活性化に関わる事業に取り組む全国各地の印刷会社の好事例を探索し、機関誌「JFPI REPORT」への連載、日印産連 Web サイトに掲載することで、好事例の共有を図り、事業推進を支援する。</p>
<p>①コンプライアンス推進部会</p> <p>■独禁法遵守 WG (事務局)</p>	<p><input type="checkbox"/> 税制改正要望の取りまとめ等を行う。</p> <p>* 会員 10 団体からの改正要望事項の取りまとめを行い、9 月を目途に 2024 年度税制改正要望書を経済産業省に提出する。</p> <p>* 関係省庁と印刷企業との仲介役を務め、関連アンケート調査の発信・取りまとめ、情報の発信を行う。</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 独禁法の周知徹底等を行う。</p> <p>* 印刷業界で二度と談合問題を起こさないよう、専門家によるセミナーやフォローアップ調査等の再発防止周知活動を継続して行う。</p>
<p>②労働安全衛生部会</p>	<p><input type="checkbox"/> 「労働衛生／化学物質管理」を優先テーマとして取り組み、印刷産業の職場環境の改善と健康障害の撲滅に取り組む。</p> <p>* 印刷産業に従事する人たちの健康障害撲滅に向け、各事業所の化学物質の取扱いに関する問題点への対応を行い、職場環境の改善を支援する。</p> <p>* 中央労働災害防止協会等の外部の専門機関の指導・アドバイスも取り入れ、事業者が理解し、実践しやすい健康障害撲滅対策に取り組む。</p> <p>* 2023 年度から新たな化学物質管理規制が導入され、従来の法令準拠型から自律的な管理（個人ばく露濃度管理）へと移行されるため、労安法改正に伴う対応を図る。</p> <p>* 印刷事業所の安全衛生全般に関わるリスク管理対応充実に向け、関連団体等をフォローする。</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p>
<p>③環境マネジメント部会</p>	<p><input type="checkbox"/> 印刷業界の事業活動における環境負荷低減活動の実績収集、環境自主行動計画のフォローアップを中心に活動する。</p> <p>* CLOMA 普及促進部会の活動状況の共有、その他部会の活動状況の情報発信を行う。</p> <p>* 環境法令、リサイクル関連法令等（プラスチック資源循環促進法、容リ法等）の法令改正に伴う対応を検討する。</p> <p>* 関連業界、行政等との連携を深め、印刷関連業界の諸問題の解決を図る。</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p>

<p>■環境自主行動計画推進 WG</p> <p>■古紙リサイクル対応協議会</p>	<p>□ カーボンニュートラル行動計画、循環型社会形成自主行動計画、VOC 排出抑制自主行動計画の目標設定とフォローアップのため、活動実績アンケート調査、結果集計を行い年度報告書を作成し提出する。</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p> <p>□ 古紙リサイクル促進に向けてのリサイクル資材ランクリストの見直し検討。</p> <p>* 脱墨評価方法の JIS 化検討。</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p>
<p>④グリーンプリンティング推進部会</p> <p>■GP 普及拡大 WG</p> <p>■GP 周知活動 WG</p> <p>■GP 制度検討 WG</p> <p>■GP 資機材検討 WG</p>	<p>□ GP 認定制度の改善、効果的な普及活動、SDGs との関連づけ、化管法 (PRTR 法)改正、新たな化学物質管理に基づく労安法改正に対応した GP 資機材認定基準の見直しを WG 中心に図っていく。</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p> <p>□ GP 認定工場の拡大、GP マークの採用・表示拡大を目指し活動する。</p> <p>* GP 応援団、GP マーク採用企業をホームページで紹介</p> <p>* 大手印刷会社による大手クライアントへの働きかけ</p> <p>* 大阪・関西万博を活用した普及拡大</p> <p>* 東京都隣接県の認定取得補助制度・調達条件等採用への働きかけ</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p> <p>□ マスメディアを活用した業界外及び社会に対する GP の認知度向上のための活動を行う。</p> <p>* GP 環境大賞、GP マーク普及大賞、GP 資機材環境大賞実施</p> <p>* 小山薫堂 PR 大使によるトークショーの実施</p> <p>* 小山薫堂 PR 大使へのインタビュー記事配信</p> <p>* 小山薫堂 PR 大使を活用した新規 PR 活動</p> <p>* SNS (フェイスブック、ツイッター等) による発信</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p> <p>□ GP 取得効果(環境負荷低減効果)を明確にするため、環境パフォーマンスデータの選定と収集方法を主とした認定制度を見直す。</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p> <p>□ ケミカル分科会とハード・ソフト分科会による次の検討を行う。</p> <p>* GP 資機材認定制度の改善 (アンケート調査の実施)</p> <p>* 化管法(PRTR 法)指定物質変更、新たな化学物質管理に基づく労安法改正に伴う GP 資機材認定基準の見直し</p> <p>* 委員参加メーカーの業界動向、メーカー動向の情報交換</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p>

### 3 基盤構築事業活動

#### 1. 活動の概要

知的財産権の保護活用や DX 推進・情報セキュリティ強化を通して、印刷産業の基盤構築を図る。

## 2. 所属部会／WG

<p>①知的財産部会</p>	<p>□ 知的財産権に関する調査研究、10 団体会員企業への知的財産権に関する啓発活動、政府・行政省庁への対応を行う。</p> <p>* 文化庁・特許庁・知財戦力本部・経産省等の知財に関わる最新動向の共有と新たな法政令の調査研究</p> <p>* 知的財産への意識向上・啓発を目的とした新たなコンテンツの企画・制作、「JFPI REPORT」や日印産連 Web サイト等による提供</p> <p>* 知財教育動画の企画・制作、日印産連 Web サイトへの掲載</p> <p>* 政府・行政省庁の知財関連動向への対応、パブコメ等を通じた意見表明や提案活動の推進</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p>
<p>②技術部会 (事務局)</p> <p>■技能五輪運営協議会</p> <p>* DX 推進 (事務局)</p>	<p>□ 印刷産業のイノベーションの基盤となる技術の共有化を推進する。また、技能五輪の活動を通じて、若年技能者への技能教育を行い、グローバルで活躍できる印刷人の育成を図っていく。</p> <p>□ 中央職業能力開発協会（JAVADA）と連携し、技能五輪国際大会の「印刷」職種の日本代表選手の選考と、代表選手が優秀な成績を収められるようするための強化訓練支援を実施していく。</p> <p>* 日本代表選手（候補）の選考 2024 年 9 月にフランス・リヨンで開催予定の第 47 回 技能五輪国際大会の日本代表選考会を、技能五輪審査委員会で計画し、実施する。</p> <p>* 日本代表選手の強化 メダル獲得に向けて、技能五輪強化委員会で、強化訓練を計画し、訓練を支援していく。</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p> <p>□ 全印工連「DX-PLAT」や「ジャグラ DX」といった取り組みの情報を全体で共有し、印刷業界としての DX を推進していく。</p>
<p>③情報セキュリティ部会</p>	<p>□ 近年、大企業から中小企業までを含むサプライチェーン上の弱点を狙ったサイバー攻撃が顕在化・高度化しており、サプライチェーン全体のセキュリティ対策強化が重要になっている。印刷業界の対策を強化するための活動を実施していく。</p> <p>* 情報収集と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SC3(サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム)からの情報伝達</li> <li>・ サイバーセキュリティ対策（サイバーセキュリティお助け隊サービス、など）の紹介</li> </ul> <p>* 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講習会、セミナーなどの検討と開催</li> <li>・ 業界としてのガイドラインとチェックシートの検討</li> </ul> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p>

## 4 広報活動

### 1. 活動の概要

「社会への情報発信強化」という任務から、印刷業界内部での情報共有を進めていくとともに、社会に向けて新たな産業イメージの構築と印刷産業のアピール・発信に努める。

### 2. 所属部会/WG

<p>①広報部会</p> <p>■情報共有プラットフォーム構築WG</p> <p>■ホームページリニューアルWG</p> <p>* 市場動向調査・発信（事務局）</p>	<p><input type="checkbox"/> 広報部会が中心となり、主催コンクールの実施及び広く一般生活者へのコンクールの周知・活性化の推進、「9月印刷の月・印刷文化典」等の企画運営、対外的・業界内向けのメディア統括や情報発信を行う。</p> <p>その他の活動</p> <p>* 海外業界動向の調査 及び海外印刷連合会との連携 世界印刷会議 WPCF（World Print &amp; Communication Forum）会合、FAPGA（Forum of Asia Pacific Graphic Arts）等、海外連合会との情報交換活動。海外印刷業界に向けて日本の印刷市場動向を発信するとともに、海外市場動向について国内業界内に発信していく。</p> <p>* 「9月印刷の月・印刷文化典」企画立案と運営 10団体の広報企画部会のメンバーとともに、講演会などを通じて一層のコミュニケーションをもてる企画を検討し、印刷産業の持つ価値の再認識や活性化を促進する。</p> <p><b>【10団体必須】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 会員 10 団体及び各団体の地区協・県工組・会員企業間の情報共有、アンケート集計やセミナー等の申し込み受付業務のデジタル化、及び会員情報のデータベース化を推進。10 団体事務局の業務負荷軽減とタイムリーな情報共有を目的とする。</p> <p>* 情報共有のためのプラットフォームを 2023 年度中に立ち上げる。</p> <p><b>【10 団体必須（事務局長）】</b></p> <p><input type="checkbox"/> グランドデザインの策定と並行し、日印産連 HP の役割を見直し、サイト構成やコンテンツのリニューアルを検討する。</p> <p>* 2023 年度～2024 年度に向けて検討事項</p> <p>1：HP リニューアルの背景と現状サイト課題の見直し 2：HP リニューアルの目的設定 3：現状サイトの数値分析 4：業界団体関連他サイトを分析 5：デザイン・コンテンツ制作・開発 6：10 団体との情報共有プラットフォームとしての活用</p> <p>* 当面事務局にて推進</p> <p><input type="checkbox"/> 10 団体に有益な各種情報を機関誌及び Web サイトを通じて発信</p> <p>* 印刷市場及び関連市場の動向に関わる情報をとりまとめ、日印産連 Web サイト上にて月・四半期・年単位で発信していく。</p>
--	---

<p>②印刷文化振興（主催コンクール運営事務局）</p> <p>■各コンクール実行委員会</p>	<p>□ 主催コンクールの活性化</p> <p>* 全国カレンダー展・全国カタログ展・ジャパンパッケージングコンペティション（JPC 展）・造本装幀コンクールの開催。特にカレンダー展はドイツのグレゴール・カレンダー協会と連携を強化。</p> <p>□ 応募点数の減少がみられるコンクールが多いため、各コンクールの活性化、一般生活者に向けた認知度の向上を継続して進める。コンクールの魅力を再認識してもらえるように、一般生活者への情報発信・展示告知方法の充実を図る。</p> <p><b>【団体指定・選択制】</b></p>
--	--

## 5 渉外活動

### 1. 活動の概要

行政やクライアント業界団体・関連団体に対して、情報収集・発信・交渉を行う。

### 2. 所属部会/WG

<p>* 行政・関係団体への渉外活動（事務局）</p>	<p>□ 10 団体との個別プロジェクト</p> <p>* 価格転嫁や過剰品質等の業界課題や人材獲得、事業再構築、新市場開拓等、各団体が抱えるテーマ毎に、関連する業界団体と連携し個別プロジェクトを立ち上げ、行政やターゲットクライアント業界団体に対して、情報収集・発信、交渉、連携を推進する。</p>
-----------------------------	---

## 6 顕彰委員会

### 1. 委員会の業務分掌

≪「日印産連表彰選考委員会」「印刷産業環境優良工場表彰選考委員会」を招集し、選考を委嘱する委員会 ≫

### 2. 委員会事業の概要

顕彰委員会は、「顕彰の客観性と信頼性の継続的な維持・向上」をコンセプトに、印刷産業の活性化につながる顕彰制度を目指し、「日印産連表彰」および「印刷産業環境優良工場表彰」についての検討を行う。

### 3. 所属部会/WG

<p>①日印産連表彰選考委員会</p>	<p>□ 審議・選考および外部審査への答申案の策定</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p>
<p>②印刷産業環境優良工場表彰選考委員会</p> <p>■印刷産業環境優良工場表彰審査委員会</p>	<p>□ 審査・選考および経済産業省への答申案の策定</p> <p>* 実態に則した関連規程並びに応募票の改訂・見直しを実施</p> <p>[印刷産業環境優良工場表彰規程]</p> <p>[印刷産業環境優良工場選考委員会規程]</p> <p>* 次年度以降の表彰制度の在り方について検討</p> <p><b>【10 団体必須】</b></p>

## Ⅱ 審査・認定事業

### I. プライバシーマーク審査事業

#### 1. 2023年度の目標

in :他審査機関から移管  
out:他審査機関へ移管

	申請受理数			現地審査数			認定数			移管		更新 辞退	審査収入 (千円)
	新規	更新	合計	新規	更新	合計	新規	更新	合計	in	out		
2018年度 実績	11	241	252	9	209	218	8	207	215	+7	▲2	▲17	90,773
2019年度 実績	3	209	212	2	208	210	1	195	196	+5	▲3	▲13	90,773
2020年度 実績	3	221	224	5	215	220	4	224	228	+8	▲1	▲9	90,773
2021年度 実績	11	241	252	9	209	218	8	207	215	+7	▲2	▲17	90,773
2022年度 実績	5	193	198	7	227	234	9	227	236	+1	▲3	▲14	93,960
<b>2023年度 計画</b>	<b>6</b>	<b>201</b>	<b>207</b>	<b>6</b>	<b>202</b>	<b>208</b>	<b>6</b>	<b>194</b>	<b>200</b>	<b>+6</b>	<b>+0</b>	<b>▲12</b>	<b>86,028</b>
対前年 増減	+1	+8	+9	▲1	▲25	▲26	▲3	▲33	▲36	+5	+3	+2	▲7,932

#### 2. 重点課題と施策

##### (1) JIS Q 15001 の改正への対応

2023年春頃に制定される見込みで、これに伴いJIPDECでは構築・運用指針を改訂し夏頃に公表する予定。これに対応するため、「構築支援ツール」の改訂を実施する。

##### (2) プライバシーマーク指定審査機関 指定更新

指定の有効期間が2023年8月27日までのためJIPDECに更新申請を行う。

- ・4月頃 更新申請書類提出
- ・6月頃 現地審査
- ・8月頃 更新決定

##### (3) 認定事業者数の拡大

- ・新規事業者の獲得  
新規取得を計画している事業者向けの研修を実施し、取得をサポートする。
- ・啓発活動の推進  
内部監査員研修や運用・構築指針の研修などを通じて、Pマーク制度の有効性を理解してもらい、更新辞退を防止する。

##### (4) 審査体制の強化

- ・主任審査員の育成  
現在の審査員の力量を評価し、主任審査員の候補者を選定し、育成計画を作成し実施する。
- ・審査員の育成  
社員の審査員への格上げを計画する  
審査員補 OJT 研修を受け入れ、審査員への格上げを図る

- ・審査員のレベルアップ

研修会、勉強会の内容を充実させ、審査員のレベルアップを図る

#### (5) 事務局体制の強化

- ・事務局業務を合理化し、社員審査員が、コンスタントに審査を実施できるような体制を構築する。

## II. グリーンプリンティング認定事業（GP認定事業）

### 1. 事業概要

グリーンプリンティング（GP）認定事業のうち工場認定及び製品認定については、2022年度に443工場になるとともに、GPマーク表示部数も9億部を突破した。GP認定申請希望者への無料の概要説明会、更新申請説明会、GP工場交流会の実施のほか、YouTubeチャンネルの開設、GP環境大賞等表彰制度実施、小山薫堂氏のトークショーの実施、印刷機メーカーの展示会やエコプロでのプレゼンテーション、GPマーク採用企業・団体のホームページへの掲載など、GP推進部会とともに周知活動を行った。

2023年度は、「SDGs目標12:持続可能な生産消費形態を確保する」を中心に、その他関連する目標の実現に向け、早期のGP工場500工場達成を目指し、オンラインを駆使した各種説明会を積極的に実施するとともに、自治体・クライアントへのアピール、2025年大阪・関西万博に向けたGP制度・GPマーク採用の働きかけ、YouTubeやSNSによる業界内外への情報発信を積極的に行っていく。また、GP環境大賞等の表彰制度の継続実施、小山薫堂氏のトークショー、ホームページのリニューアルによりクライアントを巻き込んだ事業へと拡大していく。

GP認定事業の一つであるGP資機材認定制度ではオフセット印刷部門の洗浄剤、湿し水、現像機、セッター、デジタル印刷機、製本用接着剤等の資機材認定を継続するとともに、化管法(PRTR法)指定物質変更、新たな化学物質管理に基づく労安法改正に伴う基準の変更を行うほか、新規メーカーの参加呼びかけ、新たな認定資機材の種類拡充等を図る。

### 2. 事業活動

#### (1) 認定実績と目標

認定 工場数	年度	2012 年度 実績	2013 年度 実績	2014 年度 実績	2015 年度 実績	2016 年度 実績	2017 年度 実績	2018 年度 実績	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度 目標
実績・ 目標	新規	26	25	35	23	23	34	26	28	14	22	23	30
	更新	98	87	65	121	101	95	137	119	109	132	147	117
	売上	24,010	25,510	17,008	24,665	20,654	21,000	28,357	27,920	22,046	28,380	33,597	35,539

\*資機材認定登録料を除く 単位：千円

#### (2) 活動内容

##### 1) 重点的活動項目

- ①GP工場早期500工場達成に向け、オンラインを駆使した新規取得説明会の実施等、印刷業界内へのGP工場認定取得のための周知活動の全国展開。
- ②GP環境大賞、GPマーク普及大賞、GP資機材環境大賞の表彰制度継続および小山薫堂グリーンプリンティングPR大使による「印刷と私」トークショーの実施。

- ③各都道府県の印刷工業組合等との連携による地方自治体への GP 制度のアピール。特に、首都圏及び大阪近郊自治体への環境認証取得に対する補助金制度への採用、グリーン調達基準・入札条件への採用の働きかけ。
- ④印刷発注者等への直接働きかけ。大手印刷会社の営業力、展示会等でのセミナー、マスコミ発信を通じた印刷発注者・団体、社会への GP 制度周知。
- ⑤2025 年大阪・関西万博の開催に向けて、印刷発注の環境配慮基準への GP 制度採用について多方面からの働きかけ。「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジへの活用。

## 2) その他具体的活動

### ①GP 工場への各種対応

- ・ GP 更新認定工場に対する更新説明会へのオンラインの積極的活用。
- ・ GP 工場交流会、重要環境法規のセミナー等のオンラインによる実施。
- ・ 交流会、セミナー等への未参加者への YouTube 等による各動画の配信
- ・ GP 申請添付書類簡素化、審査方法改善、並びに環境推進工場、クリオネ・バタフライマーク制度との連携検討。

### ②印刷産業界への GP 工場認定取得のための周知活動

- ・ 新規取得希望工場に対する説明会等オンラインの積極的活用。
- ・ 印刷関連団体及び印刷企業からの GP 認定制度説明要請への対応。
- ・ GP 取得のメリット、GP マーク採用事例、国・自治体への普及状況等の積極的 PR。
- ・ SDGs を核にした事業展開の重要性とそのため GP 認定取得の必要性を PR

### ③GP 認定制度の社会に対する広報活動

- ・ 小山薫堂グリーンプリンティング PR 大使を活用した新規 PR 活動の展開。
- ・ SDGs の目標達成に寄与するものとして GP 制度を社会へアピール。
- ・ ホームページにおける GP マーク採用企業紹介情報の充実